

SMILE

埼玉よりい病院 広報誌

2017年
1月
第15号

CONTENTS

年頭の挨拶
シリーズ 部署紹介
シリーズ 委員会紹介
リハビリコラム
お知らせ



茨城県 大洗磯前神社
撮影：三島 賢

病院理念

病める人を第一に考える病院であり続ける

基本方針

患者様が納得し、満足する医療を提供する
質の高い医療を目指して、全職員が日々研鑽に励む
心の通う医療連携を通じて、地域社会に貢献する



年頭のご挨拶



埼玉よりい病院
病院長 里見 昭

明けましておめでとうございます。

平成 29 年の年頭にあたり、様々な形で埼玉よりい病院を支援してくださっている皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

良質な医療を

日本の医療は、平成 30 年を境にダイナミックな淘汰と変容が起きると言われています。人口減少と少子高齢化に伴う疾病の変化でニーズは多様化し、加えて医療技術・治療の進歩に伴い医療ケアの水準も高くなり、低負担で公平に受けられる国民皆保険の質が問われつつあります。埼玉よりい病院も単に医療を提供するのではなく、良質の医療を提供する努力が求められます。

しかしながら、良質といっても医療者は技術水準や治癒率・成果を重視しますが、患者さんは満足感や安心感、医療者との人間関係がもたらす充足感を重視するという集計結果が出ています。両者が良い人間関係を築き、個性を重視して、患者さんの『満足感』や『安心感』を大切に、充足感を感じていただけるよう努力してまいります。

地域との連携強化に向けて

寄居地区は高齢化が県内でいち早く進んでいますが、高齢者の受療率は低い状況です。そして、医療資源の面で従来の病院完結型医療には限界があり、地域完結型への転換が不可欠です。

この状態を静視して、危機感もなく、現状を好しとするなら、生き残ることができません。適正な病床機能の整備に向け機能分化し、施設同士の連携や寄居町、町民、医師会との共助・協力関係を構築していきます。

戦略的経営を進めていきます

病院は経営が成り立たないと医療活動を維持できません。データを分析し、現実的な視点で地域のニーズを洞察、限りある医療資源を有効活用しながら戦略的経営をシビアに模索していきたいと考えています。

さて、今年の干支は“丁酉（ひのととり）”です。酉は果実が成熟の極限に達した状態を表すそうです。努力の成果が実り、果実を味わえる年を意味します。病院そして、皆様がどんな果実を手に入れるのか楽しみです。

皆様の健康と活躍を祈念して、年頭の挨拶とします。



薬 剤 科

薬剤科では、「おくすり」に係るすべてを取り扱います。病院の薬剤師は、入院患者さんに関わる注射薬や内服薬などはもちろん、外来患者さんの院外処方箋や治療・処置に使用されるおくすりにも関わっています。チーム医療の一員として、医師や看護師と共に治療の支援を積極的に行っています。今回は、薬剤科の紹介として、普段どのような業務を行っているのか、一部ですが紹介をさせていただきます。



埼玉よりい病院 薬剤科では、薬の専門家としてチーム医療に参加し、安心安全で適切な医療を支援しています。



調剤では、様々なチェック項目があります。患者様が安心してお薬を服用することが出来るよう、何重ものチェックをしています。

1. 調剤（内用薬・外用薬・注射薬）

外来は、特殊な製剤を除いて、院外処方箋を原則としています。院外処方箋を受け、お近くの調剤薬局でおくすりをもらったことのある方は多いと思います。

入院の場合、病院内の薬剤科にて処方箋を受付後、薬剤使用記録や電子カルテの内容と照らし合わせて確認をし、おくすりを調剤します。注射薬も同様に確認をし、各病棟に運搬します。注射薬の中でも、特に注意が必要な中心静脈栄養や抗がん剤は、感染・被ばく防止のため薬剤科で無菌的に調製を行っています。

2. 薬剤管理の指導

医師、看護師と共に連携を取りながら、入院患者さんの薬物療法を支援しています。入院時には必ずお薬手帳や持参薬を薬剤師が確認し、かかりつけ医や薬局と連携し、継続した医療の提供が出来るよう情報共有しています。病院を受診するとき、薬局でおくすりをもらうときは必ずお薬手帳を持参し、活用してください。

また、入院中は患者さんが安心しておくすりを服用・使用することができるようにおくすりの管理・飲み方・副作用・相互作用・注意事項など薬剤師から説明致します。



患者様へ適切なおくすりがお渡し出来るようにするには、お薬手帳が非常に重要です。また、納得した治療が受けられるよう、わかりやすい説明を心がけています。

3. 薬剤師としての地域へのかかわり

病院の中の薬剤師というと、なかなか馴染みがないかもしれません。病院の薬剤師、薬局の薬剤師、学校の薬剤師・・・色々なところで薬剤師は活動しています。私たちは病院薬剤師として地域の薬局薬剤師と定期的に連携会議をしたり、勉強会に参加したりしています。おくすりの専門家として、地域での活動の場も広がっています。おくすりについての質問だけでなく、医師に聞きにくいこと、体調でお困りの事がありましたら、私たち薬剤師に相談してみてください。



シリーズ

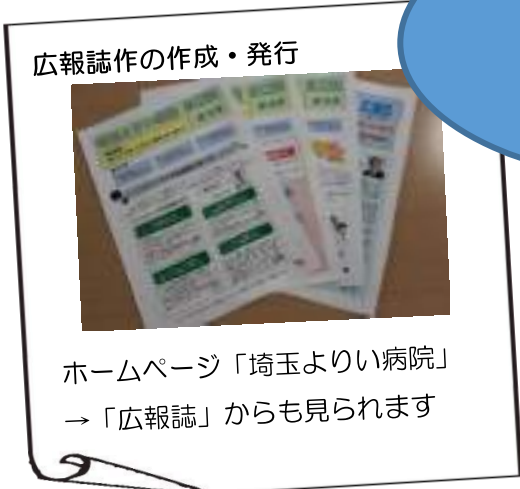
委員会紹介

広報委員会

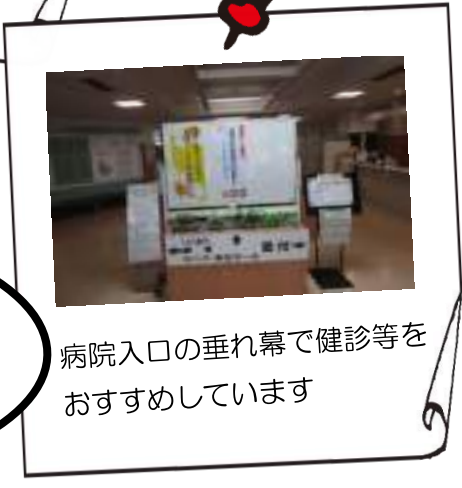
私たち広報委員会は、当院の広報活動に関わることを、書面・インターネット等の様々な方法を用いてお知らせし、地域の方に広く知って頂くことを目的としています。例えば、いま皆様が読んでいる広報誌の作成・発行も行っています。では委員会活動の様子、実際に活動した内容を紹介します。



広報委員の 活動紹介



大きな表示で
見やすくなりました!



～リハビリテーションコラム～ 第11回

埼玉よりい病院 リハビリテーション科 田村俊樹



ロコモって知っていますか??

ロコモとは・・・

運動器障害のために移動能力の低下をきたした状態であり

ロコモティブシンドロームといいます。

～原因～

運動器の障害

変形性股関節症、骨粗鬆症による円背、脊柱管狭窄症など

加齢による運動器不全

筋力低下、持久力低下、運動速度・巧緻性低下など

バランス能力が低下し、転倒の危険あり

～ロコモと健康寿命～

ロコモは健康寿命を短くする原因のひとつです。運動機能を保ち健康寿命を延ばしましょう。

要支援・要介護の原因

第1位	運動器障害	25%
第2位	脳血管障害	18.5%
第3位	認知症	15.8%

ロコモチェック

- ① 片足たちで靴下がはけない
- ② 家の中でつまずいたり滑ったりする
- ③ 階段を上がるのに手すりが必要である
- ④ 家のやや重い仕事が困難である
- ⑤ 2kg程度（1リットルの牛乳パック2個程度）の買い物をして持ち帰るのが困難である
- ⑥ 15分くらい続けて歩くことが困難である
- ⑦ 横断歩道を青信号で渡り切れない

当てはまる項目はありましたか？
1つでも当てはまったらロコモの疑いがあります！！

LET'S TRY!

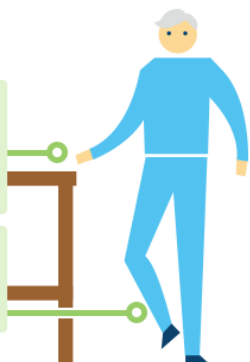
～ロコモティブシンドロームトレーニング～

① 片足立ちでのバランス保持

目標：1分間保持

転倒しないように必ずつかまるものがある場所で行いましょう。

床につかない程度に、片脚を上げます。



② 太ももの筋力強化

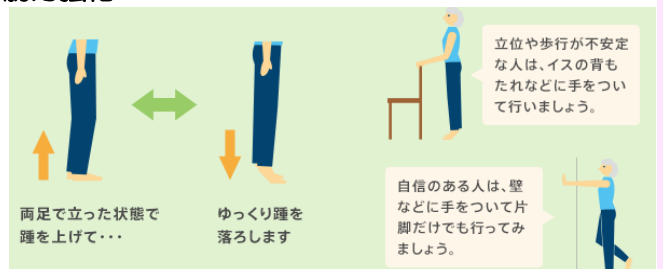
目標：
深呼吸のペースで

5・6回



③ ふくらはぎの筋力強化

目標：
10～20回
できる範囲



～外来を受診される患者様へ～

診療時間のご案内

診療時間 9:00～12:00

14:00～17:00

※ 診療科によって異なる場合がございます。

休診日 土曜午後、日曜、祝祭日

※ 救急診療を希望される患者様は、必ずお電話にてお問い合わせください。

TEL 048-579-2788 (代)

紹介状について

紹介状・健康診断の結果をお持ちの方は、受付にご提出ください。

保険証確認のお願い

- 保険証は毎月1回確認させていただきます。
月初めに診察券と一緒にご提出ください。
- 保険証の内容（氏名、住所、電話番号、勤務先）の変更、高齢受給者証の交付がある方は、来院時にご提出ください。

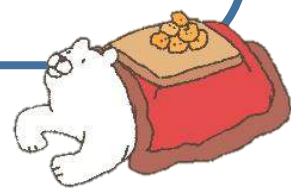
編集後記



今回の号から、この広報誌にタイトルをつけてみました。どうでしょうか。

(K.K)

新しい年のはじまりと一緒に、広報誌も一新しました！タイトルを付けたり、院内の取り組みを紹介するコラムも始めました。診察では見えないところも、知っていただけたら、より身近な病院となれるかしら？と思い、定期掲載していきます。そして、この表紙の写真は、写真が趣味の麻酔科医師が撮影したものです。趣味の域を超えています。まるでプロに撮影してもらったかのように。(N.F)



アクセス



車でお越しの場合

- ◆熊谷方面から・・・
関越自動車道 花園 IC より 15分
- ◆秩父方面から・・・
皆野寄居有料道路 末野出口より 15分
- ◆藤岡方面から・・・
関越自動車道 本庄児玉 IC より 25分

電車でお越しの場合

- ◆東武東上線・秩父鉄道・JR八高線 寄居駅下車
タクシーで 10分

埼玉よりい病院

〒369-1201 埼玉県大里郡寄居町用土 395 番地

TEL 048-579-2788 (代) FAX 048-579-2789

発行：埼玉よりい病院 広報委員会

発行日：平成 29 年 1 月 1 日 第 1 刷

